

一般会計補正予算審査特別委員会審査報告

委員長
半澤利貞

結果：賛成全員で可決 ・歳入歳出それぞれ1億5,191万円を追加して総額を65億9,274万3千円とする。

歳入の主なもの

国庫支出金 公共土木施設災害復旧費 75万円増
 県支出金
 災害救助費負担金 1億1,625万円増、健康増進事業 35万8千円増、地域農林業生産体制整備事業 1,150万円増、

農業者戸別所得補償制度推進事業 100万9千円増、地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業 35万7千円増
繰越金 2,198万1千円増
諸収入 観光施設周遊バス協力金 29万5千円減

歳出の主なもの

議会費 議会費：バス運転 2万9千円増
総務費
 一般管理費：自動車保険料 1万円増
 財産管理費：測量費 188万3千円増、地域集会施設建設費補助金 50万円増
 三俣地域振興対策費：街なみ形成委員会 12万2千円増、情報交流センター工事監理 550万円増
 町議会議員選挙費：時間外勤務手当 30万円増、会場借上料 1万4千円増

水田営農活性化対策費：農業者戸別所得補償制度推進事業補助金 100万9千円増
 花の郷管理費：備品購入費 15万円増
商工費
 商工振興費：事業用施設リフォーム支援事業補助金 500万円増
 観光費：消耗品費 10万円増、印刷製本費 15万円増、観光施設周遊バス運行 100万円減、観光施設周遊バス運行事業補助金 70万円増

民生費
 介護保険事業費：繰出金 3万5千円減
 児童福祉総務費：消耗品費 38万5千円増
 土樽保育園費：園畑除草 2万円増、管外保育 71万5千円減、衛生害虫防除 2万5千円増
 湯沢保育園費：備品購入費 2万円増
 浅貝保育園費：備品購入費 2万円増
 災害救助費：被災者受入事業増 1億1,625万円増、学校受入支援事業役務費 7万9千円増、備品購入 40万円増

土木費
 道路維持費：通信運搬費 4万5千円増
 都市計画施設維持費：仮設トイレ借上料 15万円増、汲取手数料 2万円増
 一般住宅改修支援費：住宅リフォーム支援事業補助金 500万円増
教育費
 教職員住宅費：備品購入費 50万9千円増
 小学校管理費：消耗品費 120万5千円増、スキー場使用料 20万円増

衛生費
 保健対策費：通信運搬費 5万4千円増、健康診断 54万2千円

中学校管理費：消耗品費 78万円増
 生涯スポーツ推進費：ジュニアスキー選手育成会活動費補助金 20万円増

農林水産業費
 農業振興費：緊急消雪促進対策事業費補助金 6万2千円増、地域農林業生産体制整備補助金 1,150万円増

学校給食費：備品購入費 47万3千円減
災害復旧費
 その他施設災害復旧費：浴場屋根修繕 120万円増

主な質疑

- ㉓: 東日本大震災の避難民受入で転入児童が増えている。教員等の加配状況は? 受入児童の学校ごとの内訳は?。入学式以降、この時期に増加した経緯は?。また、学校にヘルメットを購入するようだが、どのようなことに備えてなのか。
- ㉔: 教員等の加配は、湯沢中、土樽小に講師が各1名ずつ、湯沢小、土樽小に事務補助が各1名ずつ。また、これから湯沢小に講師がさらに1名加配される予定。受入児童の内訳は、三国小2名、土樽小31名、湯沢小23名、湯沢中9名。入学式以降、この時期に増えた要因は、ボランティア団体が行った「赤ちゃ

- んプロジェクト」でまず乳幼児の受け入れが増え、それに連動して増えたもの。また、ヘルメットは、今回の震災を契機に耐震強度の低い校舎での児童のため、万一に備えて購入したもの。
- ㉕: 農林水産業費の花の郷運営費で備品購入費を計上している。備品を購入するには拠点施設がなければならないが、実際にあるのか。また、花の郷の管理委託の業者への委託状況は、今年度はどうなっているのか。
- ㉖: 備品は陶芸工房旭窯で備え付けるもの。管理委託する方が変わったのを契機に点検し、取り替えが必要なが判明した。花の郷の植栽管理は、震災後の対応で今年度はまだ決まっていないが、様々な方法を検討した上でこれまでの委託にこだわらずに決めたい。

23.6 平成23年度 特別会計補正予算

議案第36号 平成23年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について——賛成全員で可決